

contents

- ・医療連携フォーラム
- ・眼科病棟（第1病棟5階）改修
- ・診療科紹介
- ・公開講演会スケジュール
- ・病院ギャラリー展示



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel. 0422-47-5511（代表）
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

◆ 第1回 杏林大学医学部附属病院医療連携フォーラムを開催して



宇井三鷹市医師会長



塩川患者支援センター長

昨今の医療情勢は緊密な医療連携の重要性を多くの観点から問いかけております。私どもといたしましても、既に近隣の多くの医療機関等と行っている様々な連携を病院全体としてさらに推進することを目的として、第1回杏林大学医学部附属病院医療連携フォーラムを10月7日（金）に開催いたしました。

今回は初回ということで当院の登録医の先生方に限ってご案内致しましたところ、週末夕方方の開催にもかかわらず50名のご参加をいただきました。

周辺10医師会の会長ないし代理の先生からのご挨拶では当院への日頃の感謝に加えて具体的なお指導・ご指摘を多く頂戴し、当院参加者にとっても大変得るところの大きいフォーラムとなりました。

当日いただいたご参加の先生方からのアンケートでは、「このような会が開催されるのを待望していた」「登録医に限定せず地域の医療機関の幅広い参加を呼び掛けてほしい」「いろいろな診療科のプレゼンや院内見学ツアーなどの企画を期待している」といったご意見をいただき、さっそく今後の活動につなげてまいりたいと思います。

これからの杏林大学病院の新しい医療連携に向けたご意見・ご要望などございましたら患者支援センター（0422-47-5511 内線 5147 担当 田中）までお寄せください。

患者支援センター長 塩川芳昭

【 第1回杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラム 】

2016年10月7日 午後7時より

挨拶：杏林学園副理事長・救急科教授 松田剛明、病院長 岩下光利、三鷹市医師会長 宇井義典氏

第一部：講演（三鷹キャンパス大学院講堂）

講演1「当院における地域医療連携の取り組みについて」患者支援センター長 塩川芳昭

講演2「心臓血管外科医が考える地域医療連携」心臓血管外科 講師 石井 光

講演3「地域医療連携の中で行う脳卒中慢性期の血圧管理」脳卒中科 教授 平野照之

第二部：情報交換会 ガーデンテラス日比谷松本楼（外来棟6階）

◆ 眼科病棟（第1病棟5階）をリニューアル

新しい眼科病棟は、「武蔵野の森」をコンセプトに明るい木材が壁面に使用され、窓からの日射しや柔らかいライトで優しい明かりに包まれた病棟に一新されました。

また、ロービジョンなどの患者に配慮し、ドアやスイッチ、通路を分かりやすくするなど視認性を高め、色や標識の大きさに工夫を凝らしています。30床（個室6室、4人部屋6室）となった病棟は、10/15から再稼働しています。



病室



検査室入口

「杏林大学病院患者支援センター」ホームページで、登録医の医療機関一覧を公開しています。



◆ 血液内科

診療は、急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性疾患が中心ですが、溶血性貧血、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、先天性凝固異常などの非腫瘍性疾患にも幅広く対応しています。

血液疾患の診断は、時に専門的で難解です。当科では、臨床検査部門、病

理部門との連携を密にし、常に正確かつ迅速な診断が得られるよう尽力しています。

造血器腫瘍治療の中心を成すのが化学療法です。19床の無菌室、約30床の一般床、外来治療センターをフル活用し、最新の分子標的治療薬を駆使して、寛解を目指した積極的な治療を多数行っています。

難治性血液疾患の治療に欠かせない同種造血幹細胞移植は、平成16年に同種骨髄移植の第1例を施行してから、累計で150例を超えました。

血縁者間移植、骨髄バンクによる非血縁者間移植、臍帯血移植のすべてに対応可能ですが、近年は臍帯血移植に最も力を入れており、良好な治療成績が得られています。

◆ 感染症科

1997年からAIDS拠点病院としてHIV診療を行っています。これまで数多くのHIV感染症診療に携わり、現在外来患者の約30%を占めています。

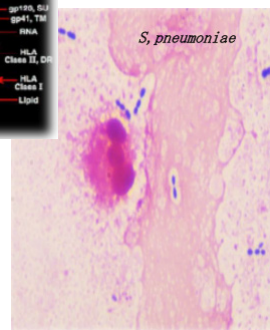
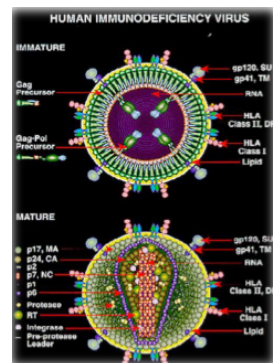
その他のウイルス感染症、結核、非結核性抗酸菌症、肺炎、デング熱など新興感染症の診療も行っています。

また原因不明の発熱や他科からの感染症治療のコンサルテーションも重要な診療業務です。

外来では、市中で発生した発熱疾患や様々な感染症についてできる限り迅速かつ正確な診断と治療を行うことを

心がけています。

一方、院内感染対策は今やなくてはならない重要な業務です。当院では感染対策室で、主としてInfection Control Team(ICT)が中心となって、病棟ラウンド、耐性菌・血液培養ラウンド、抗菌薬ラウンド・院内感染発生時の対策立案と実行、アウトブレイク時の対応、他病院との感染症連携カンファレンスなどを行い地域での院内感染対策の問題点を共有し、対策業務の充実を図っています。



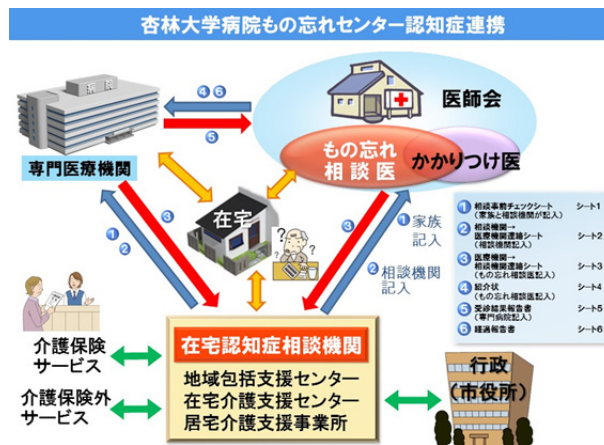
◆ もの忘れセンター

病歴聴取のほか神経心理検査、血液検査、MRI、脳血流シンチグラムなどの画像検査を行い、正確な診断と治療方針を決定することを診療の基本としています。

また、ご本人とご家族の生活を支援します。超高齢社会の到来とともに認知症が疑われる患者さんの数は増えており、これからの認知症診療は専門医療機関とかかりつけ医が協働して行う必要があります。

認知症の方とご家族が長く幸せに自宅で暮らせるよう医療を提供し、介護や福祉との連携を図ります。そのため診療所、在宅相談機関（地域包括支援センター、在宅介護支援センター、市役所など）と情報交換シートを用いた連携を行って、情報共有をしています。

また当センターでは薬物以外にも集団家族教室や運動療法、音楽療法を行っています。



※参加費・申込不要

平成28年10-12月 杏林大学公開講演会

日時・会場	テーマ
10/29 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	手術を受けることになったら 杏林大学病院周術期管理チームの取り組み 医学部講師 森山 久美
11/10 (木) 14:00-16:00 羽村コミュニティセンター	地域で認知症をみるには 医学部准教授 長谷川 浩
11/12 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	新しい脱毛症治療 医学部教授 大山 学
11/19 (土) 13:30-16:00 三鷹キャンパス	高齢者の骨折とその予防 医学部教授 市村 正一 他

日時・会場	テーマ
11/26 (土) 13:30-15:00 三鷹キャンパス	ピロリ菌と胃がん検診 医学部特任教授 高橋 信一
12/3 (土) 13:30-15:00 三鷹キャンパス	介護予防とリハビリテーション 保健学部講師 一場 友実
12/24 (土) 13:30-15:00 三鷹キャンパス	本当は多い女性の排尿トラブル 医学部医員 金城 真実

病院ギャラリーの展示会

平成25年8月から開始した第2病棟1階ギャラリーでの展示は、患者等来院者の皆さんに好評をいただいています。



10月は愛好家による三鷹市仙川等の野鳥の写真展です。